

平成 29 年度
事業報告書

社会福祉法人 花木庭会
障害者支援施設 鹿島療育園

I 基本理念

- 1 障害者の人権と尊厳を守り、自立と社会参加の支援を行う。
- 2 福祉事業を通じて地域社会の発展に貢献する。
- 3 ご利用者様、職員、法人の三者全ての安心と満足度を高める。

II 平成29年度基本方針

- 1 ご利用者様へ、常に真心を込めて安心と安全を提供する。
- 2 地域との交流を活発にし、地域から必要とされる施設づくりを目指す。
- 3 職員の自己研鑽による能力アップに努める。
- 4 技術力の向上により、よりよいサービスに徹する。
- 5 社会的ルールの遵守(コンプライアンス)を徹底する。

III 平成29年度事業目標

1 生活相談

- ① 利用者の人権尊重、権利擁護
- ② 入所待機者の確保。
- ③ 相談支援事業を通じて地域社会へ貢献する。

2 生活支援

- ① 利用者の個人ニーズに応じた個別支援に取り組む。
- ② 職員としての質の向上。
 - ・相手の立場に立った思いやりのある言動を心がける。
 - ・技術の向上及び障害の特性に応じた心のサポートを学ぶ。
 - ・言葉を超えた意思疎通、寄り添うことで安心を作り上げる。

3 医療

- ① 各部署との連携。
- ② 早期発見、早期治療。

4 総務

- ① 職員研修によりスキルアップを図る。
- ② 防災訓練や行事等をとおして、地域とのつながりを密にする。
- ③ 安全運転の励行。

5 給食

- ① 衛生管理を重点的に行う。
- ② 利用者の個人ニーズに応じた栄養ケア支援に努める。
- ③ 調理技術の向上(高齢化、重度化対応)

IV 概要

平成 29 年度は、社会福祉法人制度改革により、経営組織のガバナンスの強化や、事業運営の透明性の向上などが求められ法人運営が大きく変わった一年であった。

花木庭会の運営においては、評議員会は 3 回開催され、決算報告、事業計画、収支予算や定款変更、役員報酬規程の制定など 11 議案について審議がなされた。

理事会は 5 回開催され、理事長等の選定、規程の改正など 28 議案について審議がなされた。

監事会は 5 月に定例監査が実施された。また、評議員会、理事会及び 11 月に実施された佐賀県実地指導に同席された。

施設・設備の整備では、公益社団法人 24 時間テレビチャリティー委員会からリフト付きバスの贈呈を受け、17 年間使用した旧車両との入れ替えを行った。

また、消防法の改正により火災通報装置を自動火災報知機連動式に更新するとともに、排煙窓の一斉開放設備を改修し、防災対策の向上に努めた。

職員配置の状況では、年間の平均配置数が、45.3 人と前年度より 2.5 人の減となった。

特に生活支援員は、31 人体制で配置したものの、育児休業や退職等により、平均配置職員数は 28.7 人となった。勤務年数が 3 年以下の経験の浅い職員が 12 人と依然と多い構成であった。また、調理員についても、一時期 2 人が不足する時期が生じた。いずれの職種も、パートタイマーの雇用や全職員のチームワークにより利用者へのサービス提供を行うことができた。

利用者へのよりよいサービスを提供するためには、職員の資質の向上が欠かせないものとなるため、施設内研修を定期的に開催してきた。施設外での研修会には職員配置の関係上参加できないときもあったが、できる限り参加させスキルの向上に努めてきた。

1 生活相談

利用者の権利擁護、人権尊重の観点から日々の支援において課題が見つかった時点で速やかに改善に努めた。利用者は重度化の傾向にあるため、介護の度合いが高くなった利用者については、障害支援区分も高くなり、きめ細やかなサービスが必要となり、支援内容を変更することがあった。

個別支援計画におけるサービス提供は、月間の実績表や中間評価表で、計画のモニタリングを行い、サービスの質の向上に努めた。

入所待機者の確保については、行政機関や医療機関等との連携を図り、入所待機者の確保に努め、年度末での待機者は 14 人となり 2 人増となった。

入所利用者は、6 月の退所者について待機者の中から入所者を受け入れたが、10 月の退所者については補充の受け入れを行わなかった。これは、生活支援員の減少に伴い、利用者への支援に支障をきたさないための一時的な措置であり、年度末での人員は 51 人となった。

2 計画相談

相談支援センター鹿島療育園では、指定特定計画相談事業を実施してきた。

市町より依頼があった計画相談については、速やかに対応し、平成 29 年度中に、サービス等利用計画は入所者 14 人、在宅者 24 人の合計 38 件であった。障害種別では身体障害者 24 人、知的障害者 2 人、精神障害者 12 人であった。

また、利用計画に沿ってサービスが適切に提供されていることを定期的に確認するモニタリング（継続サービス利用支援）は 101 件で前年度より 26 件の増加となった。なお、障害児サービス等利用計画の策定実績はなかった。

3 生活支援

延べ利用者数は 18,102 人で前年度の 18,066 人とほぼ同数であった。利用者の入院、外泊等の延べ人数が 878 人となり、95.4% の稼働率となった。

事業目標である利用者の個人ニーズに応じた個別支援への取り組みについては、利用者の主体性を尊重し、個人やその家族が望まれている目標を個別支援計画に反映し日々の生活の中で取り組んでいる。個人のニーズに応じるためには計画上ののみの支援ではなく、利用者の小さな思いにも耳を傾け、常に情報の共有を継続している。現状に課題点が見つかれば振り返り、改善、その後の対応策へと繋げて支援の充実を図っている。

職員の質の向上については、利用者の高齢化・重度化が進む中、生活支援員の中に認定特定行為従事者（喀痰吸引研修課程修了者）が現在 5 人在籍し、医療的ケアが求められる支援への対応にも安心を得られてきた。

これからも、利用者に寄り添うことで安心を得ていただけるよう、言葉を超えた支援を提供していきたい。

4 生活介護（日中のみ）

利用者は 1 人減少し 6 人となった。年間の延べ利用者数は 738 人で前年度の 654 人からやや増加し、一日当たりの利用者数の平均は、2.7 人となり、定員 4 人での稼働率は 68.6% となった。

通所利用者の支援においては、入所利用者とほぼ同じ条件のもとで支援を展開し、ご本人、ご家族のニーズに応じた個別支援計画を策定し、サービスの向上に努めてきた。

ご家族とは送迎のわずかな時間に顔を合わせ、言葉を交わすことによって情報が共有され、信頼関係が構築されていたことにより、緊急時の対応も理解と協力を得ることができた。

5 短期入所

利用契約者は 6 人であったが、実利用者は 4 人にとどまった。年間の延べ利用者数は 304 人と前年度の 606 人から半減した。これは、入所までの待機期間を短期入所で利用されていた利用者 1 人が、早期に施設入所となられたことや、他の利用者は、家族の冠婚葬祭や介護者の負担軽減等を目的とした利用が主となっており、利用日数が少なくなった。

個別支援計画の策定は必要ないものの、利用者の希望される支援については、主体性を尊重した支援を行った。

6 機能回復訓練

現状の身体機能、生活能力を維持し日常の生活を営むための訓練として、医師の指示、理学療法士及び作業療法士の指導を受け、個別支援計画への取り組みへと繋げ、訓練の継続により日常生活がより豊かなものになるように取り組んでいる。

訓練の実施状況は、職員数が少ないときでもグループを小規模化することや、居室にて行う事により、訓練が実施できるような環境を確保する事ができた。

今後も参加率の向上を目標に利用者の健康維持、機能維持に努めていきたい。

7 サークル活動

○ 手芸サークル

外部講師による押し花を年6回、手芸を年6回実施した。

押し花は、重度化により参加者の自立度が低くなってくるなかで、体調を考慮し、講師や職員の介助を受けつつ四季折々の押し花を使い、希望に沿った様々な作品を制作、園内での展示や作品展への出展も行ってきた。手芸については、手持ちのスキルスクリーンや共同作品としてのスキルスクリーンの制作に取り組まれた。

ほぼ固定した利用者の方が参加されているが、通所利用の方の参加もあり余暇時間の充実に取り組むことができた。

○ 音楽・カラオケサークル

外部講師による音楽サークルでは、四季をテーマとした曲や利用者が希望する曲をピアノで演奏してもらい、合唱による楽しい時間を過ごされ、歌うことの楽しさを感じられている。

カラオケサークルは月に2回の活動であり、歌う事が好きな利用者の参加で、通所を利用されている方の参加もあり、毎回15、6名程の利用者が参加されている。

○ 囲碁・将棋サークル

毎月1回地域ボランティアの方達により活動が行われている。興味のある利用者に限定されているため参加者は限られるものの、通所利用者や短期入所利用の方にも参加の声掛けを行い、囲碁や将棋ができない利用者でも「はさみ将棋」等に参加したり見学したりして、楽しい時間を過ごしてきた。

○ 園芸サークル

運動広場周辺の花壇は、車椅子での作業ができるよう高めになっているため、興味のある利用者が一緒に花や球根の植え込みや除草等にも参加され、「癒しの場」の提供に取り組むことができた。四季折々の花が園庭を散歩される利用者や来園者の目を楽しませてくれている。

また、広場横の畑を利用し、ピーマン・なす・かぼちゃ・きゅうり等いろいろな野菜が収穫でき、給食の献立に取り入れてもらい、利用者の皆さんに食べもらうことができ、喜んでもらった。

天候の影響や業務の都合によりサークル活動予定日に実施できない時は、業務の調整を図りながら実施した。

○ 生活サークル

ゲームやレクリエーション、歌、習字、絵、朗読等毎回違った内容で実施した。

毎回15名程の利用者が参加されている。

習字、絵等の作品や季節感を取り入れた共同作品については廊下に掲示し、来園者に鑑賞していただいている。12月の忘年会では生活サークル参加利用者による出し物が披露された。

利用者間での交流や職員との関わりの中での会話を楽しみながら、サークル活動が進められた。

○ 編集サークル

年4回発行している「はなこば新聞」では、利用者の生活状況や行事等の様子、ボランティアとの交流の様子、利用者の感想等をご家族や関係団体等にお知らせすることができた。より良い「はなこば新聞」になるよう、担当職員や利用者が役割分担しコミュニケーションを図りながら取り組んだ。

○ レクリエーション・余暇活動

レクリエーションは、3か月ごと(5月・8月・11月・2月)に実施し、毎回17名程の利用者が参加された。クイズや体操・ゲームなど、頭を使ったり体を動かしたりするなどの内容で、楽しんで参加されていた。集団で取り組むことで利用者間の交流に繋がっている。

障害に応じた活動内容を計画することで、職員も障害を把握した知識、技術、進行の話術を学ぶことができ、スキルアップにも繋がっている。

利用者の身体機能の低下等で参加者が減少傾向にある。多くの利用者に参加してもらえるように事前に参加への働きかけをしていきたい。

余暇活動は、2か月毎(偶数月)に実施し、園の行事のビデオや映画のDVD鑑賞などを行ってきた。毎回20名前後の利用者が参加されている。

○ フラワーアレンジを楽しむ会

元職員4人のボランティアで、年3回(6月・9月・12月)のフラワーアレンジを実施し毎回25人前後の利用者が参加された。

花材は購入品の他、当園の花壇から摘んだ花や、講師や職員の持ち寄りの協力もあって、参加利用者の自由な作品の後押しをしている。参加されている利用者の方達も講師が元職員ということで、会話もはずみ、次回の開催を心待ちにされていた。

今後も元職員の協力を得ながら、利用者に楽しい時間を提供していきたい。

8 苦情相談

苦情は、毎月行われている利用者懇談会で7件、随時の申し出が3件で合わせて10件となった。内容別では、職員の配慮不足など職員に関することが7件、利用者間の対人トラブルによる利用者に関することが3件であった。

苦情については、概ねその場で回答し、検討が必要なものについては翌月の利用者懇談会において回答を行った。

今後も苦情について傾聴し、速やかな解決策が望まれる。また、更なる相談サービス提供者としての職員の資質の向上が求められる。利用者間の苦情については相互理解が必要であり、苦情が軽減するような職員の支援も必要と思われる。

9 医療

利用者の入院は、延べ人員39人で延入院日数は652日を数えた。実入院人員は18人と同じ利用者の繰り返しの入院も多く見られた。入院期間は、1か月以内の入院が8割以上を占めているが、継続した医療が必要となる利用者2人が退所となった。

通院は、前年度から57人減少し、年間で1,171人となった。そのうち、訪問歯科が427人と3割以上を占めているが、内科、外科、泌尿器科等の通院に多大の時間を要している状況であり、既往歴で再発する病名では、肺、肝臓、腎臓疾患が多く、骨折などもあった。また、精神疾患による通院者は11人を数え、うち2人は医療保護入院となった。

感染症予防対策期間として、12月から2月の3か月間取り組み、手洗い・消毒・換気・加湿を行い、利用者は外出時、職員は勤務時にマスクの着用に取り組んだ。なお、3月に入ってもインフルエンザ等の感染症が流行していたため、3月中旬まで感染症予防対策期間を延長した。結果的に職員に数名のインフルエンザの発症者がいたものの、利用者や他の職員への施設内の感染には至らずに治まることができた。

障害の重度化に伴い、発症から悪化するまでのペースも早く、また、本人の訴えも乏しいこともありますり、日頃の様子との比較や、健康チェックを行うことで、速やかに対応した。

協力病院として犬塚病院、納富病院、織田病院、志田病院へお願いすることが多いが、病院では、コミュニケーションがとりにくく、また、介護の度合いで通院治療となるケースも見受けられた。

今後も、嘱託医や他職種間との連携を密に利用者への支援を行っていきたい。

10 給食

利用者の高齢化・重度化傾向により、よりきめ細やかなサポートが必要となる中で、医療・生活支援・給食が連携して一人ひとりに応じた食事形態で提供し、特に低栄養状態の方には栄養ケアマネジメントを策定し、生活機能の維持改善の支援を行った。

食事形態について、主食は、ご飯（普通）・二炊き・二炊きミキサー・全粥・全粥ミキサーの5段階とし、副食の切り方は、普通・小刻み・ミキサー食に分けて提供した。

また、療養食として低脂肪食・減塩食・減塩低脂肪食・糖尿病食に取り組み、利用者個々人の身体状況に合った食事内容で提供した。食事提供数は、全利用者合わせて、年間 55,269 食で、毎食の平均では 50.4 食となった。

嗜好調査は毎年行い、調査結果を基に主食、主菜で嫌いな食材やアレルギー食品は、代替食にて提供することで、満足度を上げ、食事摂取量向上につなげ、体力維持・機能低下防止に努めてきた。また、限られた予算内で季節の物を楽しんで食べてもらえるように、調理員と栄養士で工夫と改善を重ね研鑽を積んできた。

安全面では「食中毒防止」「異物混入防止」等の衛生管理を徹底し、手洗い消毒と生野菜の処理、機械器具のアルコール消毒等の基本的対応を最重要ポイントとしてあげ、冬だけでなく夏場にも発生するようになった「ノロウイルス防止」など、1年間を通じて「食中毒防止」、「ウイルスの感染予防」に努め、安全・安心に食事摂取してもらえる目標を達成できた。

11 防災

防災訓練は、職員が火災時に必要な初期行動及び利用者の安全な避難ができるよう毎月 1 回実施してきた。夜間は勤務する職員が 3 人となり、特に職員間の連携が求められるため、より速やかで安全な避難誘導が実施できるよう、訓練を重ねてきた。年間で、夜間を想定しての訓練を 11 回実施し、1 回は昼間を想定しての訓練を行った。また、10 月には鹿島消防署、鹿島市消防団などの関係機関及び近隣地域の協力を受けながら総合防災訓練を実施した。

全職員を対象とした夜間の招集訓練は 9 月に実施した。電話連絡網及び一斉メールにて伝達し、訓練開始後 20 分以内に約 6 割にあたる 27 名が登園した。非常時に対する職員の行動力の把握に繋がる訓練であるため、今後も実施していくことが必要であると思われる。

利用者の方も年を重ねること等による身体機能の変化もみられ、重度化の傾向といえる。ベッドから車いすへの移動に介助を要する等、殆どの利用者が避難誘導の際に何らかの支援を必要とする方であり、今年度実施した防災訓練での避難誘導時間は、平均で 14 分 20 秒を要した。

11 月には自動火災報知機と火災通報装置が連動したシステムとなり、消防署への通報が以前より早く行われることとなり、火災の確認、出火場所の特定等について更に迅速な対応が求められることとなった。

V 評議員会、理事会の開催状況

<評議員会>

第1回

開催日	平成29年06月16日
議案	平成28年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書及び財産目録)(案)の承認について 平成29年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 役員の任期満了による改選について

第2回

開催日	平成29年11月06日
議案	平成29年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 平成29年度鹿島療育園拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について

第3回

開催日	平成30年03月28日
議案	平成29年度法人本部拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 平成29年度鹿島療育園拠点区分第3次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 定款変更(案)の承認について 役員等報酬規程制定(案)の承認について 平成30年度事業計画書(案)の承認について 平成30年度資金収支予算内訳表(案)の承認について

<理事会>

第1回

開催日	平成29年05月26日
議案	平成28年度事業報告書(案)の承認について 平成28年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書、貸借対照表・収支計算書の附属明細書及び財産目録)(案)の承認について 臨時職員等就業規則改正(案)の承認について 給与規程改正(案)の承認について 平成29年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 定時評議員会の開催(案)の承認について

第2回

開催日	平成29年06月16日
議案	理事長の選定について 業務執行理事の選定について 第三者委員の選任について

第3回

開催日	平成29年10月27日
議案	育児・介護休業等に関する規則改正(案)の承認について 平成29年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 平成29年度鹿島療育園拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 評議員会の開催(案)の承認について

第4回

開催日	平成30年02月09日
議案	佐賀県実地指導結果通知書の回答(案)の承認について 経理規程改正(案)の承認について

第5回

開催日	平成30年03月20日
議案	平成29年度法人本部拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 平成29年度鹿島療育園拠点区分第3次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 賞与引当金の計上(案)の承認について 定款変更(案)の承認について 社会福祉法人花木庭会旅費規程改正(案)の承認について 役員等報酬規程制定(案)の承認について 評議員選任・解任委員会運営規程改正(案)の承認について 公印規程等改正(案)の承認について 給与規程改正(案)の承認について 平成30年度事業計画書(案)の承認について 平成30年度資金収支予算内訳表(案)の承認について 鹿島療育園清掃業務委託に係る随意契約(案)の承認について 評議員会の開催(案)の承認について

VI 行事実績（平成29年度）

月　　日	行　　事　　名	摘　　要
4月 25日～11月 28日	小グループ旅行	佐賀市 年3回
4月 27日～4月 28日	利用者健康診断	血液検査、心電図、前立腺がん検査、胸部レントゲン
5月 7日	家族会総会	事業報告・計画等
5月 16日・9月 26日	日帰り旅行	佐賀市 年2回
5月 19日	地域との交流会	
6月 6日・11月 29日	能古見小学校（5年生）との交流会	概要説明、見学・歌、ボウリング等
6月 22日	鹿島市立東部中学校課外授業	概要説明、障害者差別解消法、実技
6月 26日	佐賀西部コロニーより見学	概要説明、見学
7月 10日	安全祈願祭	利用者、職員の安全祈願
7月 26日	介護者教室	障害者差別解消法について
8月 9日～8月 16日	夏季帰省	帰省者9人
9月 7日	秋祭り	地域、家族等との交流
9月 12日～9月 14日	鹿島実業高校インターンシップ	洗濯物たたみ、コミュニケーション等
9月 30日	つながりフェスタ作品展示	作品12点出展
10月 1日	能古見ふれあい大運動会	ふれあい競技参加、見学
10月 3日～10月 23日	利用者健康診断	尿検査
10月 19日	園内運動会	家族、ボランティア参加
10月 28日	三嶽神社獅子舞披露	
10月 31日	明倫小学校との交流会	踊り、合唱、ボウリング等
11月 1日	ことじ保育園との交流会	獅子舞・剣遣い
11月 10日	能古見保育園との交流会	園児遊戯等
11月 22日	追悼会	物故者の供養
11月 26日	かしま福祉フェスタ2017	作品12点出展
12月 7日	忘年会	
12月 9日～12月 17日	第17回佐賀県障害者文化芸術作品展	作品11点出展
12月 28日～1月 6日	冬季帰省	帰省者8人
1月 16日～2月 1日	初詣	鹿島市（祐徳稻荷神社）
1月 31日	福祉講演会	講演「これからの福祉のまちづくり」
2月 19日	ボランティア団体等との交流会	鹿島療育園ボランティア実績・計画等

VII ボランティアの受入状況（平成29年度）

月　　日	団　　体　　名	摘　　要
毎月	囲碁将棋	囲碁将棋の対局
隔月	鹿島市婦人ボランティア五五会	おむつ作り、行事協力
隨時（年7回）	鹿島市肢体不自由児者父母の会	おむつ作り等
隨時（年6回）	押し花	押し花の作製支援
随时（年5回）	佐賀女子短期大学生	洗濯物たたみ、コミュニケーション等
随时（年3回）	フラワーアレンジを楽しむ会	フラワーアレンジメント
4月 6日	藤生会	踊り、写真撮影
4月 27日	らくの寿司	握り寿司の提供、歌の披露
5月 9日	大正琴振興会（桜樹会）	大正琴演奏
5月 25日・9月 28日	職員のボランティア活動	地域の清掃（除草作業・ゴミ拾い）
6月 9日	にじいろラボ	演奏披露
6月 10日	釜山外国語大学校生	車椅子清掃、写真撮影
8月 21日	楠風会さくら会	雑巾作製
11月 1日	にじいろラボ	演奏披露
11月 2日	落語のボランティア	落語
11月 12日	鹿島市視覚障害者福祉協会	マッサージ
3月 29日	松尾貴臣氏の歌のボランティア	歌披露

VIII 利用者の状況

【入所者】

(1) 出身地別利用状況(平成29年度)

区分	佐賀市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	玄海町	有田町	大町	江北町	白石町	太良町	大村市	波佐見町	合計
男	3人	0人	5人	6人 ②	1人	6人	1人	2人	1人	2人	1人	2人	1人	0人	31人 ②
女	0人	1人	2人	6人	0人	4人	0人	1人	0人	1人	1人	3人	0人	1人	20人
計	3人	1人	7人	12人 ②	1人	10人	1人	3人	1人	3人	2人	5人	1人	1人	51人 ②

※○印は退園者数

(2) 月別在園者の状況(平成29年度)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月初利用者数		51人	52人	52人	51人	52人	52人	52人	51人	51人	51人	51人	51人	
入園者数		1人	0人	0人	1人	0人	2人							
退園者数		0人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	2人
月末利用者数		52人	52人	51人	52人	52人	52人	51人	51人	51人	51人	51人	51人	

(3) 年齢構成表

平成30年3月31日現在

区分	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	65歳	70歳以上	合計	最小	最高	平均
	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	64歳	69歳					
男	0人	0人	0人	3人	8人	10人	4人	6人	31人	43才	83才	62.2才
女	0人	0人	1人	2人	6人	3人	3人	5人	20人	33才	86才	61.7才
計	0人	0人	1人	5人	14人	13人	7人	11人	51人			62.0才

(4) 在所期間の状況

期間性別	1年未満	1年以上	3年以上	5年以上	10年以上	15年以上	計	1人当たり平均在所期間
	3年未満	5年未満	10年未満	15年未満				
男	2人	1人	5人	6人	4人	13人	31人	14年 3月
女	0人	4人	3人	3人	2人	8人	20人	13年 1月
計	2人	5人	8人	9人	6人	21人	51人	13年 10月

(5) 障害原因別

障害原因	事故			疾病			合計 ① + ②	
	交通事故	労働災害	その他の事故	先天性の疾病	後天性の疾病	小計		
①	①	①	①	②	②	②	②	
男	3	2	5	10	10	11	21	31
女	1	0	0	1	15	4	19	20
計	4	2	5	11	25	15	40	51

(6) 病症類別

属性	疾病・原疾患	主たる病症類・原疾患										合計
		脳	脊髓損傷	脊	脳血管障害	頭部外傷	リウマチ	その他の難病	その他の疾病	合計		
性別	性別	頸髄損傷	胸腰髄損傷	小計	マヒ	マヒ	マヒ	マヒ	マヒ	マヒ	マヒ	合計
性別	男性	8	5	1	6	0	5	4	0	2	6	31
	女性	11	1	0	1	0	1	1	0	0	6	20
	合計	19	6	1	7	0	6	5	0	2	12	51
障害支援区分	区分6	11	4	1	5	0	4	3	0	0	5	28
	区分5	6	1	0	1	0	0	2	0	1	6	16
	区分4	2	1	0	1	0	1	0	0	1	1	6
	区分3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	19	6	1	7	0	6	5	0	2	12	51

【通所者】

(1) 出身地別利用状況

区分	鹿島市	白石町
男	3人	1人
女	1人	1人
計	4人	2人

【短期入所者】

(1) 出身地別利用契約状況

区分	鹿島市	江北町	白石町
男	3人	0人	0人
女	1人	1人	1人
計	4人	1人	1人

IX 利用者の日課

7:00	起床・洗面
8:15	朝食 健康チェック 整理整頓 ラジオ体操
10:00	機能回復訓練
12:00	昼食
14:00	自由時間 余暇利用 入浴
17:15	夕食 自由時間 娯楽時間
20:00	就寝準備
21:30	消灯

X 利用者の通院状況

	内科	外科	精神科	眼科	耳鼻科	歯科	訪問歯科	皮膚科	婦人科	泌尿器科	その他	計
4月	7人	9人	5人	2人	0人	3人	32人	7人	0人	13人	2人	80人
5月	14人	13人	3人	2人	1人	5人	42人	13人	0人	9人	4人	106人
6月	37人	18人	2人	1人	0人	4人	35人	11人	2人	8人	4人	122人
7月	18人	7人	3人	1人	0人	5人	37人	11人	0人	12人	3人	97人
8月	28人	9人	5人	1人	3人	4人	32人	14人	0人	11人	1人	108人
9月	20人	8人	3人	1人	0人	2人	27人	8人	0人	9人	3人	81人
10月	20人	10人	3人	2人	2人	1人	26人	8人	0人	10人	0人	82人
11月	12人	13人	5人	1人	1人	0人	37人	12人	0人	15人	0人	96人
12月	17人	18人	3人	4人	3人	1人	32人	9人	0人	11人	3人	101人
1月	12人	20人	5人	1人	1人	0人	40人	7人	0人	15人	2人	103人
2月	12人	16人	4人	1人	3人	0人	46人	9人	0人	5人	2人	98人
3月	8人	21人	6人	2人	0人	0人	41人	8人	0人	9人	2人	97人
計	205人	162人	47人	19人	14人	25人	427人	117人	2人	127人	26人	1,171人

XI 苦情解決

苦情受付件数

	職員に關すること	利用者に 關すること	施設に關 すること	その他	計
29年 4月	1	0	0	0	1
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	1	0	0	1
8月	0	0	0	0	0
9月	1	1	0	0	2
10月	2	0	0	0	2
11月	1	0	0	0	1
12月	2	0	0	0	2
30年 1月	0	0	0	0	0
2月	0	1	0	0	1
3月	0	0	0	0	0
計	7	3	0	0	10

XII 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。